

現システム ハードウェア・ソフトウェア仕様書

ハードウェア仕様書

1 ハードウェアについては次の各機能以上を有すること。なお、庁内ネットワークに接続する際に必要なソフトウェアも快適かつ安定的に動作するようにすること。

(1) 地籍調査システムサーバ

ア ハードディスクについては、冗長化により障害発生時にも復旧可能な構成とすること。

イ UPS については、停電等が生じた際に、UPS 電源制御ソフト等と連携して、システムのシャットダウンが終了するまで稼働を続けることができ、また、落雷などによる電源の瞬断や一時的な電圧低下などの影響を回避することができること。

ウ サーバは自動運転により、起動、データバックアップ、終了が行える等、予め決められたスケジュールの予約管理が行えること。ただし、手動による起動、終了も行えること。

エ 標準的なデータベース管理システムを備えること。

オ Microsoft (R) Windows Server 最新版を推奨する。

(異なる OS を使用する際は、その理由を提案書内に記述すること)

カ DVD-ROM を備えること。

キ リカバリディスクを付属すること。

(2) ラック機器

発注者が用意するサーバを搭載するラックは、既設の 19 インチラック (EIA 規格) を活用するが、ラック設置に伴う各種ケーブル、サーバスイッチ等を用意すること。

※KMVについては、発注者が用意する「富士通 17 インチラック・コンソール (RC25) PY-R1DP1」を使用すること。

(3) クライアント機器

クライアント機器についてはデスクトップパソコンとし、次の各スペックを満たすものを用意すること。

ア 数量：2 台

イ Microsoft 社製クライアント OS の Windows10 をインストールすること。

ウ Microsoft(R) Office Professional 最新版をインストールすること。

エ ドライブ：DVD スーパーマルチドライブ

オ モニター：21.5 インチ液晶モニター

カ マウス：USB 接続 2 ボタンホイール付き光学式

キ キーボード：日本語 109 キー

ク PDF 閲覧編集ソフト (分割・結合機能、PDF 作成機能を有する) をインストールすること

(4) A3カラーレーザープリンタ

- ア 数量：1台
- イ 拡張ペーパーフィーダーユニット，専用台を備えること
- ウ A3，A4サイズで印刷でき，また，両面印刷ができること。
- エ A4カラー印刷において，30枚/分以上の性能を有すること。

(5) A0版カラーインクジェットプロッタ

- ア 数量：1台
- イ 最大用紙サイズがA0版対応であること。
- ウ スタンドを備えること

(6) 非接触型指ハイブリッドスキャナ (HS100-10)

- ア 数量：2台

(7) 指ハイブリッド認証ユーティリティADクライアント

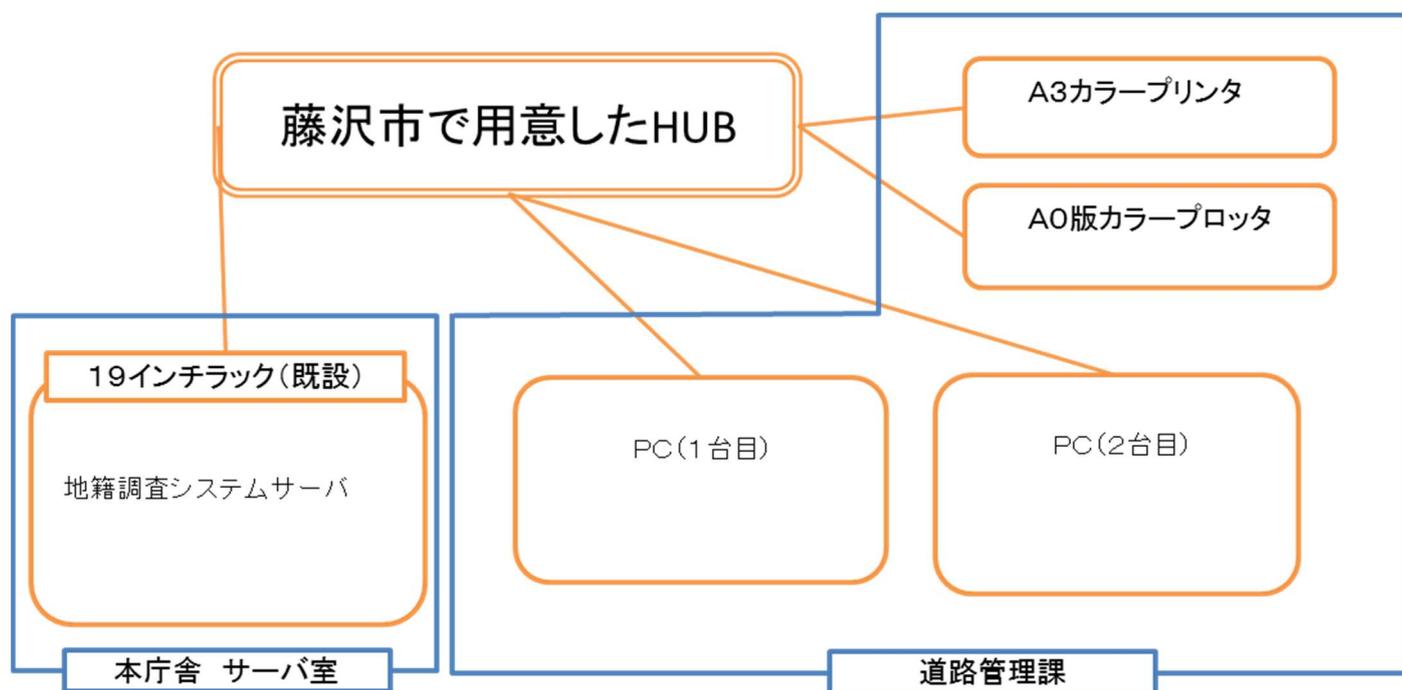
- ア 数量：2台
- イ ライセンスを含む (UJF371-22)

(8) 工事・現地調整

各種工事・現地調整については，次の各内容を実施すること。

- ア サーバ設置に伴う電源工事費，LANの敷設工事費，ネットワーク機器等を搭載する作業費，現地調整費を含めること。
- イ 端末及びプリンタ等各種機器のLAN工事，現地調整費を含めること。
(LANについては，現在使用しているケーブルをそのまま使用する予定。)
- ウ 庁内接続にあたり，動作保証の必要なソフトウェア。
 - (ア) 資産管理ソフト
sky株式会社「SKYSEA Client View」
 - (イ) ウイルス対策ソフト
トレンドマイクロ株式会社「server protect」「ウイルスバスターコーポレートエディションXG」
 - (ウ) 指ハイブリッド認証ユーティリティADクライアント調達機器に含まれているもの。

2 システム構成については、次の形とする。



以上

ソフトウェア仕様書

導入するソフトウェアについては次の各機能を有すること。

1 地籍調査支援機能

本ソフトは地籍調査事務支援機能，調査図素図・調査図作成機能，地籍図修正機能からなり，地籍調査の準備，地籍調査に必要な帳票及び図面の作成（E 工程）及び認証，地籍簿案・地籍図案を登記（H 工程）におよぶ地籍調査全般を支援するシステムであり，次の各機能を有すること。

(1) システム基本機能（地籍調査事務支援，調査図素図・調査図作成，地籍図修正ソフト共通）

ア 連動機能

事務支援機能，調査図素図・調査図作成機能，地籍図修正機能は完全に連動しており，各機能を個別に立ち上げる必要がなく切替ができること。

イ セキュリティ機能

(ア) システム起動時にログイン・パスワードを入力し，ユーザ認証が行えること。

(イ) システム管理者のメッセージをログイン画面上で表示できること。

(ウ) 各種データにアクセス可能なユーザの追加，削除，ユーザ名設定ができること。

(エ) ユーザに対して管理者・一般ユーザの区分が行えること。データアクセス制限及び印刷許可，データ出力許可を設定できること。

(オ) ユーザがログインした日時，実施した処理内容，アクセスしたデータ名などを時系列に記録することができ，一覧として出力できること。

ウ バックアップ・リストア機能

データのバックアップ，リストア機能を有すること。

(ア) バックアップする際には，バックアップするデータをファイル単位で選択できること。選択する際には，前回バックアップした時点から変更があったファイルかどうか判断できる機能を有すること。

(イ) リストアする際には，新規登録，上書き登録を選択できる機能を有すること。

(2) 地籍調査事務支援機能

ア 基本機能

事務支援データは年度・地区単位で管理できること。複数地区ある場合は，年度グループ内で管理できること。元号の変更にも対応できること。

イ 属性管理機能

地籍調査事務支援データの属性管理として、所在、地番、重複地番、地目、地積、所有者、管理者、共有者、相続人、異動項目、調査図番号、地籍図番号、立会情報、内外地目（制限なく複数）、内外地積（制限なく複数）、調査区域外の管理ができること。

ウ 検索機能

地番一覧表・所有者一覧表・管理者一覧表から検索できること。また、検索した所有者・管理者を選択すると該当の人物が所有・管理している地番一覧が表示され、その一覧表から地番の選択ができること。

エ 調査前データの入力、修正機能

(ア) 調査前データの入力

課税データ、及び法務局の登記情報を取り込むことができること。取り込んだデータを Excel の一覧表上で修正ができること。

また、直接、一筆毎に地番情報の追加入力、修正ができること。地番入力時において所有者の追加が必要な場合は、別途所有者ファイルを開かなくても所有者の追加が簡単にできること。

(イ) 共有者情報の入力

代表の所有者コードが同一の共有地については、ある筆に共有者の構成員情報を入力すれば、その他の筆にも同じ共有者情報を複写入力ができること。共有者の構成員情報の一部が異なる場合は、その箇所のみ修正ができること。

(ウ) 登記情報の入力

ある所有者が複数の土地を所有する場合、ある筆に抵当権等の登記権情報を入力すれば、その他の選択した筆にも同じ登記権情報を複写入力ができること。

(エ) 摘要欄

摘要欄に自由に文字を入力することができること。

オ 調査後データの入力機能

(ア) 異動項目の入力

調査後の異動項目、異動の年月日等を入力できること。

(イ) 異動項目のチェック

異動入力後、異動内容のチェックを行うと論理的に矛盾する処理を行った筆の抽出ができ、画面上一覧表示されること。

カ 帳票出力機能

すべての帳票は Excel の様式に出力する機能を有し、印刷前にはプレビュー画面で確認できること。また、帳票を出力する際の出力順番、出力する範囲等の条件を各種設定できること。

キ 出力帳票

次の各帳票を出力できること。

「縮尺決定のための筆数調書」「地番一覧表」「土地所有者一覧表」「土地管理者名簿」「名寄帳」「地籍調査票」「一筆地調査標札」「共有者氏名表調査票」「相続人氏名表」「立会日程表」「所有者毎立会日程表」「通知書」「宛名シール」「地籍簿」「共有者氏名表」「土地管理者名簿」「所有者名寄せ」「管理者名寄せ」「所有者毎地籍調査結果閲覧確認調書」「管理者毎地籍調査結果閲覧確認調書」「閲覧受付簿」「一筆調査集計表」「実施地区面積別筆数表」「地区別地目別集計表」「不存在地等調書」「不立会地調書」「地目別筆数面積変動表等調書」「筆数変動一覧表」「住所不明所有者等調書」「地籍調査票綴」「地図番号別地番一覧表」「異動項目別地番一覧表」「合筆調書」「索引表」「地番対照表」「農地現況確認調書」「字別集計表」「地番一覧表」「所有者一覧表」「世帯一覧表」「調査図番号一覧表」「杭種別集計表」「筆界未定地構成地番表」「点番構成表」

ク データ入出力機能

帳票・一覧表・所有者データ等をCSV形式で出力できること。また、法務局の登記情報CSVデータを調査前データとして取り込めること。

(3) 調査図素図・調査図作成ソフト

ア 調査図素図データ作成（公図データ入力）機能

法務局の地図XMLデータを取り込み、調査素図を作成できること。

イ 地籍調査事務支援データとの連動機能

(ア) 調査図素図データができた時点で地籍調査事務支援の調査前データと大字・小字・地番の連動ができること。地籍調査事務支援上の地番から該当の調査図素図を検索・表示ができること。逆に調査図素図作成上の地番から地籍調査事務支援の地番を検索できること。また、地籍調査事務支援上で筆属性を変更した場合、調査図素図の属性も変更されること。

(イ) 調査図素図上に所有者、地目、地積等を選択して表示できること。

(ウ) 調査図素図上に同一者マーク、×マーク等調査図素図を作成するのに必要な記号を入力できること。

(エ) 立会日程計画を調査図素図上から入力できること。

ウ 調査図データ作成機能

(ア) 調査図素図データを背景に調査後の点番、結線データの入力ができること。

(イ) 点番の入力に当っては点番号の自動付番機能を有していること。また、点番の杭種等の管理ができること。

(ウ) 調査図素図と同様に調査図データができた時点で地籍調査事務支援の調査後データと大字・小字・地番の連動ができること。

- (エ) 地籍調査で得られた情報を調査図上に残せるようにレイヤの追加ができ、そのレイヤ上に文字情報、地図情報の作成ができ、管理ができること。

エ 調査図素図，調査図出力機能

- (ア) 調査図素図，調査図の出力ができること。
- (イ) 出力図面の様式，縮尺，印刷条件の設定ができること。また，筆の中に印刷する情報を地番，地目，所有者名，登記権等選択して設定できること。
- (ウ) 出力図面の縮尺と用紙のサイズを指定することにより画面上作成可能範囲の枠が表示されること。また，枠は任意に回転できること。
- (エ) 文字と筆界線，文字同士が重ならないように文字の自動配置ができること。また，文字の角度や大きさも筆の形状や大きさ対応すること。どうしても筆形状内に印字できない場合は，欄外に自動抽出できること。
- (オ) 必要に応じて地目，所有者等によって色分けができること。
- (カ) 画面上指定した箇所を切り取り Word，Excel に貼り付けること（クリップボード機能）ができること。

オ 帳票の出力機能

すべての帳票は Excel の様式に出力する機能を有し，印刷前にはプレビュー画面で確認できること。また，帳票を出力する際の出力順番，出力する範囲等の条件を各種設定できること。

カ 出力帳票

次の各帳票を出力できること。

「字別集計表」「地番一覧表」「所有者一覧表」「世帯一覧表」「調査図番号一覧表」「杭種別集計表」「筆界未定地構成地番表」「点番構成表」

(4) 地籍図修正機能

ア 地籍測量成果の入出力機能

- (ア) 地籍測量成果を SIMA フォーマット，地籍フォーマット 2000 で入力して地籍図データを修正できること。また，地籍フォーマット 2000 でデータを出力する際，国土調査登記情報ファイルの作成もできること。
- (イ) SIMA フォーマットで入力する場合は，入力する際にファイル毎に大字・小字の設定ができること。
- (ウ) SIMA フォーマット入力する場合は，入力後に地籍図図郭，精度区分，調査年月，測量年月等の設定ができること。
- (エ) 地籍測量成果を SIMA フォーマット，地籍フォーマット 2000，CAD 形式（SFC ファイル，P21 ファイル，DXF ファイルのいずれか），SHAPE 形式で出力できること。

イ 地籍調査事務支援データとの連動機能

- (ア) 地籍図データを作成した時点で地籍調査事務支援の調査後データと大字・小字・地番が連動できること。また、地籍図データの地番と地籍調査事務支援の地番の突合ができること。
- (イ) 地籍図データから地籍図番号、測量後の地積を地籍調査事務支援データに自動的に取り込めること。
- (ウ) 地籍図上に地籍調査事務支援の調査後の地目、所有者、地積を選択して表示できること。
- (エ) 地籍調査事務支援の調査後データを変更した場合、自動的に地籍図データの属性データも自動的に変更できること。

ウ 異動処理機能

- (ア) 地籍図データを分筆、合筆、筆界修正等の加工・編集ができること。
- (イ) 按分処理（1辺平行距離、1辺平行面積、2辺平行面積、定点面積、定点角度等）による分筆ができること。
- (ウ) 異動処理を行った場合、地籍調査事務支援データにその内容を自動的に反映させる機能を有すること。

エ 測量計算機能

- (ア) 既存の点を使用して交点計算、トラバース計算、逆トラバース計算等の計算機能を有していること。
- (イ) 測量計算で求めた結果を地籍図データ上に反映でき、地籍図データの加工・編集が簡単にできること。

オ 図面修正機能

- (ア) 地籍図、筆界点番号図、集成図、地籍図一覧図、一筆図、地積測量図等各種図面が印刷できること。
- (イ) 図面修正の際は、縮尺と用紙のサイズを指定することにより画面上作成可能範囲の枠が表示されること。また、枠は任意に回転できること。
- (ウ) 図面修正の際は、文字と筆界線、文字同士が重ならないように文字の自動配置ができること。また、文字の角度や大きさも筆の形状や大きさ対応すること。どうしても筆形状内に印字できない場合は、欄外に自動抽出できること。
- (エ) 必要に応じて地目、所有者等によって色分けができること。
- (オ) 画面上指定した箇所を切り取り Word、Excel に貼り付けること（クリップボード機能）ができること。

カ 帳票の出力機能

すべての帳票は Excel の様式に出力する機能を有し、印刷前にはプレビュー画面で確認できること。また、帳票を出力する際の出力順番、出力する範囲等の条件を各種設定できること。

キ 出力帳票

次の各帳票を出力できること。

「字別集計表」「地番一覧表」「共有者地番一覧」「共有者構成表」「現地確認不能地一覧表」「地番毎座標値一覧表」「求積表」「座標点一覧表」「基準点一覧表」「路線一覧表」「路線別基準点座標表」「図郭座標値一覧表」「外周構成点一覧表」「大字別地籍測定成果簿」「小字別地籍測定成果簿」「地番別地籍測定成果簿」

2 地籍管理機能

本ソフトは地籍調査完了後の維持管理及び利活用を目的としており、次の各機能を有すること。

(1) 拡大・縮小・スクロール

ボタン・マウスホイール操作による拡大（範囲指定）・縮小・スクロールができること。

(2) 表示設定

登録レイヤ（航空写真・地形図・住宅地図・DM）の表示／非表示，表示した線の幅・線種・色の選択，筆属性（所有者・地目・面積等）の表示/非表示設定，色分け設定ができること。またユーザー毎にその設定を保存できること。

(3) 複数地図表示機能

地籍図と航空写真・地形図・住宅地図等を重ねて，或いは左右に並べて表示できること。

(4) 複数データ管理機能

年度単位に登録した地籍図と年度界，縮尺界の接合処理をおこなったシームレスのベース地図，両方の地図データを同時に管理できる機能を有する事。

(5) 検索機能

登録されている全データに対して所在地番・所有者・管理者・シンボル名・地図・属性を指定することで該当の地番を検索できること。

(6) 管理属性（土地）

所在地番・登記地目・登記面積・計算面積・所有者・管理者・登記年月日・自由項目・ファイリングデータを管理することができること。

(7) 管理属性（筆界点及び基準点）

点番名・杭種・X座標・Y座標・標高・日本測地座標（X座標・Y座標）・ファイリングデータを管理することができる。

(8) 異動修正機能

不動産登記法に基づき，分筆・合筆・地図訂正が座標値入力のできる事。始点・終点については入力座標値が既存の線分と合わない場合は交点計算等をおこない自動的に線分上に合わせる機能を有すること。また，表示登記・滅失・地目変更・所

有権移転ができること。また法務局より送付される異動通知書をスキャニングした画像データを既存の図形データと合わせ、マウスで分筆・地図訂正・表示登記処理ができること。

(9) 図面出力機能

画面上に表示された地図に対して指定したエリア内の地図が出力できること。さらに図面出力において、筆界内に記入する属性情報が筆界線に重ならないように地番表示位置、文字の大きさ、配置を自動調整、矢印付抽出が自動でなされた状態で図面が出力する地番シミュレーションがなされること。出力される図面様式は、一筆図形・集成図・地籍図・地積測量図の4種類とする。一筆図形においては、新・旧座標を持つ場合、並列して表示が行えること。

(10) 色分け機能

筆属性により画面上で色分け図面が出力できること。

(11) 自由作画機能

システムに登録されている地図データを背景として、自由に点・線・エリア・文字列を属性情報に付加して書き込むことができ、そのレイヤを保存できること。

(12) 測定機能

マウスで指定した任意エリアの面積を計算やマウスで指定したn点間の距離を計算できること。

(13) 帳票出力機能

登録しているデータから、名寄帳・地番一覧表・地番集計表・基準点一覧表・筆数変動一覧表が出力できること。

以 上